

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第1回吉川市総合戦略推進審議会
開 催 日 時	平成30年11月19日(月) 午後6時00分から 午後7時20分まで
開 催 場 所	吉川市役所 303・304研修室
出席委員(者)氏名	大杉覚委員、瀬山紀子委員、田口政博委員、小西毅委員 田中博委員、蓮見良平委員、程田幸秀委員、小林照男委員 飯村毅委員
欠席委員(者)氏名	石田宏記委員
担当課職員職氏名	[事務局出席者] 政策室長 野尻宗一 政策室副室長兼主幹 荒川泰弘 政策室企画担当副主幹 島村善和 政策室企画担当主査 東原拓哉 政策室企画担当主事 平野拓也
会議次第と会議の 公開又は非公開の 別	[次第] 1. 開会 2. あいさつ 3. 委員委嘱 4. 会長及び副会長の選任 5. 議事 (1) 基本指標・重要業績評価指標(KPI)の進捗 管理について 6. その他 7. 閉会 [公開・非公開]公開
非公開の理由 (会議を非公開に した場合)	
傍聴者の数	なし
会議資料の名称	次第 資料1 基本指標・重要業績評価指標(KPI)の進捗管理に ついて 総合戦略の指標における課題について
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	田中博委員、程田幸秀委員
その他の必要事項	
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局  市長	<b>1 開会</b>  <b>2 あいさつ</b> 委員の皆様にご覧いただいた総合戦略は、市の情勢に合った計画であると感じている。総合戦略は総合振興計画に続く上位の計画ということで、他の条例や計画の策定時には、常に総合戦略と総合振興計画を考慮して策定しており、第7期吉川市高齢者福祉計画、第4次吉川市障がい者計画、産業振興条例の策定にあたっては、総合戦略を踏まえて策定をしたところである。市民シンクタンクにおいては、研究員に総合戦略について説明した上で、様々な政

<p>市長</p>	<p>策提言をしていただいているところである。また、今年度のマニフェスト大賞において、コミュニケーション戦略優秀賞を受賞したが、総合戦略があってこそだと感じている。総合戦略策定から3年が経過し、多くの種をまいてきたと自負しているが、花が咲いたものもあれば芽が出ていないものもあり、また、まだ種をまけていないものもあることは承知している。今回の総合戦略の進捗管理では、委員の皆様の厳しい目で見てください、よりよいまちにしていきたいと思う。</p> <p><b>3 委員委嘱</b> 市長から委員へ委嘱書を手渡す。</p> <p>(市長退席)</p> <p>(事務局出席者紹介)</p> <p>(関係各課出席者紹介)</p>
<p>事務局</p>	<p><b>4 会長及び副会長の選任</b> 会長及び副会長の推薦について委員に伺う。 (推薦なし) 委員からの推薦がなかったため、事務局案として大杉委員を会長、瀬山委員を副会長に選任する案を提示。 (異議なし)</p>
<p>会長</p>	<p>(会長挨拶) 総合戦略のそれぞれの分野において、施策が良い方向に進んでいると感じている。会議においては、委員の皆様のご指導をいただきながら進めていきたいと思っている。</p>
<p>副会長</p>	<p>(副会長挨拶) 女性の多様性と総合戦略は関わりがあると感じており、この審議会もより多様なかたちの審議会にしたいと考えている。多様性が目に見えるようなまちづくりにつながる総合戦略にすることで、市のこれからの未来の担い手が希望を持てるようにしたいと考えている。</p>
<p>会長</p>	<p><b>5 議事</b> 議事開始前に本日の議事録署名委員を選任したい。田中委員、程田委員に議事録署名委員をお願いしたい。 (両名、了承)</p> <p>傍聴要領に基づき、会議を公開としたいがよろしいか。 (異議なし)</p>
<p>事務局</p>	<p>(1) 地方創生交付金事業の評価・検証について 資料1 基本指標・重要業績評価指標 (KPI) の進捗管理についてを用いて説明。</p>
<p>委員</p>	<p><b>【意見・質疑等】</b> 「基本目標1 子どもの笑顔と活気でまちを満たす」の基本指標である、「子ども：「夢や目標を持っている」と考える割合」が前年度より増加した理由は何か。</p>

学校教育課	昨年度策定した教育大綱に基づき、今年度から小中学生に「志ノート」を書いてもらい、夢を持って志を高めてもらった。校長講話でも夢や志の大切さを伝え、保護者に対しても啓発しているので、それらが増加した要因の一つであると考えている。
会長	小中学生が夢や志に対して意識を持ったということで、良い取り組みが行われていると感じる。
副会長	新規の企業立地件数の2団体について、昨年度と同じ数値であるが、2団体とも昨年度と同じNPO法人であるのか。
事務局	昨年度と同じ団体である。
副会長	新規企業立地の2団体とも女性を中心とした企業であると聞いている。市としても、女性の起業を支援するなど、団体数を増やす取組を考えていただきたい。
商工課	今年度、産業振興基本条例を策定し、基本計画において女性活躍の推進を掲げている。
副会長	産業振興条例の基本計画は、女性の一般企業への就労支援を目指すものなのか、それとも起業支援を目指すものなのか。
商工課	計画策定時には、サテライトオフィスなどの選択について議論がなされたこともあり、それらも含めて女性活躍の推進としている。
副会長	そのサテライトオフィスの考えは、大企業がオフィスを吉川に設置するものなのか、それとも女性の起業を支援するシェアオフィスなのか。
商工課	サテライトオフィス、シェアオフィス双方を含めたものを検討している。
会長	女性の就労や起業のニーズはどれくらいあるのか。
商工課	詳しく調査はしていないが、市内においては、子育て世帯の増加に伴いニーズがあると考えている。特に、美南地区については、ニーズが多いのではないかと考えている。
会長	新規企業立地件数に関しては、目標値である5団体を達成すればよいということではないと考えている。女性の起業など、吉川ならではの企業が立地することや、既存の2団体が持続可能なかたちで運営していくことが重要であると考えている。
委員	認定新規就農者数に関連して、離農した方はいるのか。
農政課	認定農業者数は平成29年度末で92件だったが、現在、87件となっており、高齢化により離農されている方がいる状況である。
委員	新規就農者数はいるが、離農する方もいる中で、作付面積や出荷量の状況はどうなっているか。また、農業産品の数を指標とすることなどはできないか。

農政課	<p>認定農業者の作付面積の規模は毎年大きくなっており、経営規模は拡大している状況である。また、耕作放棄地の面積が近隣自治体に比べて低い状況であることも認定農業者の経営規模が拡大したことによるものと考えている。農業産品については、吉川産米である「吉川のしずく」が大吉ブランドに認定されたり、大吉ブランドに認定されているものの中には吉川産の原材料が使われていたりする状況であることから、就農者が拡大志向であることを捉えられる指標とすることも検討できるのではないかと考えている。</p>
会長	<p>指標が本当に良い方向に向かっている数値なのかが分かるようにした方が良いと考える。</p>
委員	<p>今年度、吉川ブランドの認定数が25件とのことだが、どのようなものが認定されたのか。</p>
商工課	<p>11月18日に開催された市民まつりにおいて、15事業者25品目が大吉ブランドに認定された。代表的なものとしては、なまずせんべい、よしかわチップス、なまずロール、みたらし団子、草餅などがある。</p>
委員	<p>大吉ブランドはどのように認定されたのか。</p>
商工課	<p>今年度8月に要綱を策定し、事業者に自薦による募集をかけた。10月30日に産業振興部長を審査委員長とする審査会を開き、応募の中から認定をした。</p>
委員	<p>20、30歳代の転入超過者数について、目標の達成は可能と考えているのか。</p>
事務局	<p>この数値は、各年度の累計の数値になっており、現状値から考えると目標達成は難しいのではと考えている。</p>
副会長	<p>今年度、子育て世代包括支援センターが設置されたとのことだが、今後どのように機能していくことを期待しているか。</p>
健康増進課	<p>今年度11月に子育て世代包括支援センターが設置された。センター設置前からはあるが、母子手帳を保健センターにおいて交付しており、その際にアンケートをとりリスクが高い方に対しては早い段階から対応をしてきた。しかし、アンケートや面接において、周りの人からの支援を受けられなかったり相談できる人がいなかったりする人もおり、そのような方の成育過程やバックグラウンドまでは把握できないのでそのようなところが課題であると認識している。</p>
副会長	<p>「出産について『出産しやすい』『おおむね出産しやすい』と回答する人の割合」が昨年度と比べて横ばいとのことだが、子育て支援策を実施しているかが数値に影響されると考えている。今年度、子育て世代包括支援センターが設置されたこともあるので、要望として子育て支援策の取組に期待し、数値が上がるような取り組みをしていただきたい。</p>
委員	<p>活力やにぎわいについて、レイクタウンやららぽーとなどのシン</p>

	<p>ポル的な施設と比べてにぎわいが無いと感じている市民がいると思うが、吉川市が近隣と比べて強みがある分野はあるか。</p>
商工課	<p>商工分野、観光分野において特段強みがあるわけではないと感じているが、産業振興条例に基づく取組の中で今後強みを見出せていければと考えている。</p>
委員	<p>弱みである分野はあるか。</p>
商工課	<p>近隣と比べて、商店街がなかったり店舗が集約されていなかったりすることが弱みとして考えられるが、商工会を中心に一店逸品活動を行っているところである。</p>
委員	<p>産業振興条例において、職住近接について記載されているが、現状把握している数値はあるか。</p>
事務局	<p>職住近接に関する数値は持ち合わせていないが、国勢調査では、吉川市内から東京都内に通勤する市民が多いことが分かる。</p>
会長	<p>商工業者側からの視点で、吉川の強みはあるか。</p>
委員	<p>吉川市は、個人個人で商売をしている状況である。そのような中で大吉ブランドが設立され、事業者と行政がタッグを組むことで他の地域との競争力を付けていく必要があると感じる。</p>
委員	<p>多様な働き方実践企業の認定基準や認定されることによるメリットは何か。</p>
事務局	<p>多様な働き方実践企業とは、埼玉県が認定する制度で、短時間勤務制度・所定外労働の免除、フレックスタイム、始業・就業時刻の繰上げ・繰下げ、出産した女性が現に働き続けている企業、男性社員の子育て支援等を積極的に行っている企業、託児施設の設置運営など子育てや介護をしやすくするための多様な働き方の制度を複数導入している企業が対象である。</p>
副会長	<p>県として、多様な働き方実践企業の認定については、企業に対するインセンティブ等は設けていないが、認定された企業においては、メリットを考えてほしいと考えている。</p>
事務局	<p>総合戦略の指標における課題について説明</p>
委員	<p>「子どもが目標に向かって充実した生活を送っているか」の問いでは、子どもがいる家庭でも2割強の方が「わからない」と回答しているが、残りの7割近くの方はいずれかに回答をしており、「十分に充実していると思う」「ある程度は充実していると思う」と回答した方が5割強いるので、悪くない結果であったのではないかと思う。</p>
委員	<p>「充実している」と答える理由を捉えることで、何をもって充実しているかが分かり、「わからない」と答えた理由も分かってくるのではないか。</p>

